# JENESYS 2017

#### JENESYS2017 大洋州第2陣

(対象国:キリバス、ナウル、バヌアツ、フィジー、マーシャル諸島、ミクロ

## ネシア)

### (テーマ:海洋資源・海洋安保)の記録

1. プログラム概要

フィジー、キリバス、マーシャル、ミクロネシア、ナウル、バヌアツより「海洋資源・ 海洋安保」に関心のある学生 21 及び引率者 2 名が、12 月 3 日~12 月 12 日の 9 泊 10 日 の日程で来日し、「海洋資源・海洋安保」をテーマとしたプログラムに参加しました。

都内では、JICA 東南アジア・大洋州部による海洋安保に関するブリーフ、東京海洋 大学への訪問、笹川平和財団海洋政策研究所による海洋安全保障関係事業に関するブリ ーフ等を実施しました。日本の海洋保安に関する事業・研究を知ることにより、日本の 取り組みへの理解を深めました。気仙沼市では、気仙沼漁港視察(震災から復興までの 歩み、および現在)、市場を支える関連企業の視察訪問等を通し、現地の状況を直接肌 で感じる機会を持ちました。また、同市八瀬地区では民泊を体験し、受入家族の温かい もてなしも受け、一泊ではありましたが、日本の生活を直に感じることができ、民泊終 了後も受け入れ家族との別れを大変惜しむ様子も伺えました。

日本の生活への理解と関心を深め、プログラム期間を通して、各々の関心事項や体験 について SNS を通じて対外発信を行っていました。帰国前の報告会では、訪日経験を活 かした帰国後のアクション・プラン(活動計画)についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】

23 名(キリバス2名、ナウル1名、バヌアツ1名、フィジー9名(うち引率2名)、 マーシャル諸島3名、ミクロネシア7名 ※50音順)

#### 【訪問地】

東京都、宮城県

#### 2. 日程

12月3日(日)成田国際空港より入国(ミクロネシア7名、マーシャル諸島3名) 【都内参観】皇居

12月4日(月) 【都内参観】明治神宮、竹下通り 【先端技術】日本科学未来館

成田空港より入国(フィジー他11名、キリバス2名)

12月5日(火)オリエンテーション

【海洋安保】JICA の海洋保全に関する取り組み

- 【都内参観】お台場
- 12月6日(水) 【学校交流】東京海洋大学 【海洋安保】笹川平和財団 海洋政策研究所
  - 東京駅→−ノ関駅、宮城県気仙沼市へ移動
- 12月7日(木) 【海洋資源】気仙沼市魚市場 【海洋資源】気仙沼市役所「水産業の復興状況」 【海洋資源】(株)足利本店(水産加工会社) 【海洋資源】(有)藤田製函店(魚箱卸売会社) 【海洋資源】(株)岡本製氷冷凍工場(氷製造販売会社) 【市内参観】氷の水族館 12月8日(金) 【市内参観】リアス・アーク美術館 【復興状況視察】旧向洋高校(震災遺構) 【市内参観】商港岸壁防潮堤 【民泊体験】八瀬地区
- 12月9日(土) 【民泊体験・文化体験】そば打ち体験、ストラップ作り、盆踊り
- 12月10日(日)【伝統建築】中尊寺本堂、金色堂ーノ関駅→東京駅へ移動
- 12月11日(月)【都内参観】浅草寺、仲見世通り 報告会
- 12月12日(火)成田空港より出国

# 3. プログラム記録写真





12月7日 (株)足利本店(水産加工会社)	12月7日 (有)藤田製函店(魚箱卸売会 社)
December 7 <sup>th</sup> ASHIKAGA, Fishery Processing Manufactory	December 7 <sup>th</sup> FUJITA, Fish Box Making Manufactory
12月7日 (株) 岡本製氷冷凍工場	12月7日 氷の水族館
December 7 <sup>th</sup> OKAMOTO, Ice making and Freezing Manufactory	December 7 <sup>th</sup> Ice Aquarium
12月8日 旧向洋高校(震災遺構)	12月8-9日 農家民泊
December 8 <sup>th</sup> Koyo High-school, Structural remains damaged by Great East Japan earthquake	December 8-9 <sup>th</sup> Farm stay



#### 4. 参加者の感想(抜粋)

◆ フィジー 学生

日本で見た体験したりしたすべてのことや日本の文化を周りに伝え、また大学の友 人たちと一緒に実践していきたいと思います。

◆ フィジー 学生

日本での体験等をロールプレイなどで分かりやすく周りの人に伝え、これからもっと JENESYS について知ってもらい、ひいては日本について知ってもらえるようにしていきます。

#### ◆ ミクロネシア 学生

特に、魚市場が印象的でした。日本の魚市場でしていること、早朝の競りや水揚げ の方法、海産物の加工、運搬の方法等、ミクロネシア内の魚市場にも採り入れること で、より効率の良い運営をすることができるだろうと感じました。

## 5. 参加者の対外発信



Gift exchange and mummy teaching is how to make kimono dress with

Day 5: It was a wonderful experience being able make soba noodles from scratch.

6. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表(抜粋)

アクション・プランの発表①	アクション・プランの発表②
・日本での体験や日本での生活等を、ロー	以下の方法、機会を捉え、日本についての
ルプレイを通して、USP の他の学生に伝える	発信をする; ・USP のオープン・デー ・地域のコミュニティーや学校 ・ニュースレター ・学校機関誌
• Perform role plays about our experience to the students of USP to encourage them to take part in upcoming JENESYS Program	Promoting Japan through; •USP Open Day •Local communities and schools •Newsletters •School magazines